



地方新聞

平には四つの日刊其他多
敷の新聞がある、縣廳の
お隣元たる福島市から全
縣下を相手に政民兩派の
機關新聞が發行されてい
る、文化の進歩につれて
政黨機關紙の今後の發展
は期し得られるものでな
く必ずや落陽の暎を叩つ
時が来るものである、さ
は去りながら平地方に於
ける新聞紙は徹頭徹尾同
一形である是れでは行詰
つた新聞界と謂はざるを
得まい。

外部の刺激を受けてある
のに目醒めない譯でもあ
るまい、此處に分化作用
を起さなくてはならない
管であるニュースのみの

新聞紙では地方乃至社
會の進展を助長せざるの
は自明の理ではないか、
大衆の一隅に新聞無用論
が唱へられたつある事は
是を地方新聞界の一轉機
とし新聞當事者は省慮し
て無意味且つ平凡に目送
してはならない。

嗚呼既成宗教家の 末期は來れり

客曰 思想善導の陣立は
如何 課すべき問題でない
答 それを寺院の住職に
各宗派を通じ寺院には各開
基の縁起と因縁あり住職は
それを固守せねばならぬ又
外部の事情としては管長
り宗務所あり宗制あり宗會

Table with 2 columns: 日 (Day) and 行 (Action/Event). It lists dates and corresponding events or activities.

大衆の認容する 縣議候補登場人物

情實關係に左右さるる、記
者によつて編輯さるる、新
聞に價値があらうか?

特色發揮は新聞の個性發
揮である個性なき新聞は
いくつ讀んでも同じこと
で殆んどその存在の理由
がない「讀まずには居ら
れない」紙面を提供する
ことは刻下の最大急務で
ある斯つた殺した書か
ざるを得ないが他に一考
察を要してこそ新聞自体
の發展ともなるではある
まいか。

綴・宮間の 自動車開通

綴 停車場前より宮に通ずる
自動車運轉營業方を弊炭の
以上は寺院に於ける収入の
有無に拘らず實行すべき必
須の條件である特別財源の
ある寺は格外とし普通の寺
の内に家庭の財政に苦
心の餘り悲哉住職自身が
思想悪化の傾向にあるの
だ。

客曰 宗務所の宗政は如何
答 其宗々々により多少の
相違あるべきも其宗の如
く現代相應の教義を宣傳
網の下に三十名内外の所員

是が町會議
員殿の行爲
四町會議員長谷川次郎
氏は新須加町沙濱地
の公有地に漁業組合長時
代に無断で肥料製造所
を建設したので其筋より
取拂へを命じられたので
一度は命これ従つたが又
ぞ再建築し今度は町が
海岸一帯を買収したので
町會の席上次郎議員に
撤去處分を促したにも關
らず今以て存続せしめ置
たるは實に見上げた堂々
たる議員サマで是れから
町民は町有地に自分勝手
に住宅でも何でも建設
せしめ合つて来るもの
の當然といふもの。

客曰 宗務所の宗政は如何
答 其宗々々により多少の
相違あるべきも其宗の如
く現代相應の教義を宣傳
網の下に三十名内外の所員

客曰 宗務所の宗政は如何
答 其宗々々により多少の
相違あるべきも其宗の如
く現代相應の教義を宣傳
網の下に三十名内外の所員

客曰 宗務所の宗政は如何
答 其宗々々により多少の
相違あるべきも其宗の如
く現代相應の教義を宣傳
網の下に三十名内外の所員

客曰 宗務所の宗政は如何
答 其宗々々により多少の
相違あるべきも其宗の如
く現代相應の教義を宣傳
網の下に三十名内外の所員

客曰 宗務所の宗政は如何
答 其宗々々により多少の
相違あるべきも其宗の如
く現代相應の教義を宣傳
網の下に三十名内外の所員

客曰 宗務所の宗政は如何
答 其宗々々により多少の
相違あるべきも其宗の如
く現代相應の教義を宣傳
網の下に三十名内外の所員

客曰 宗務所の宗政は如何
答 其宗々々により多少の
相違あるべきも其宗の如
く現代相應の教義を宣傳
網の下に三十名内外の所員

客曰 宗務所の宗政は如何
答 其宗々々により多少の
相違あるべきも其宗の如
く現代相應の教義を宣傳
網の下に三十名内外の所員

客曰 宗務所の宗政は如何
答 其宗々々により多少の
相違あるべきも其宗の如
く現代相應の教義を宣傳
網の下に三十名内外の所員

落語

社中同人新作
平町の新聞地字へと曲りの
への九流地に三軒長屋があ
ります初軒目は法華の行者
萬端相整ひ三人は三角形に
たまく弟子の一人が道場
建設を進言せしに源空曰く
念佛の聲するところ悉く道
場なり焉んぞ所を定めて道
場を建設するの必要あらむ
宜なる哉其一言... 現代
の宗教家は源空の一言に奮
起し赤裸となりて十字を
頭に進出せしむるも其
自己の證の教義を宣傳す
き方法は其途あるのみ
意氣にて進出せしむるも
其途あるのみ

町民本位の豫算

民衆要望の反映

町會と議員の態度
平町本年度豫算は歳入二十八萬二千二百二十七圓の原案に對し二十八萬六百五十圓を修正し歳出二十萬八千四百六十六圓の經常部を十九萬六千四百六十五圓と改め臨時部七萬三千六百六十一圓を八萬四千四百四十圓と修正して二十八萬六百五十圓となつた譯で原案に對し二千二百二十二圓の減、前年度に比較し實に一萬一千八百七十五圓を減額して一戸平均十六圓となり二圓五十錢を軽減したのである然も豫算會は慎重嚴密毎夜十二時に及んで五日間誠實審議し町民利弊の關する原因を明察し宿年蔓延せる一切の情實を斥けたるが如きは眞摯熱誠の會議であつた豫算討論は口角を飛ばして論戰もしばしば演じられたことである原案必ずしも非なり云々はされども町長は町民の意思に従つて町政を料理運行せねばならざるが故に豫算編成前に一般の意向を確め綜合意思を豫算面に現し多くの修正を見ざるを以て信望と手腕とを發揮せねばならぬ筈である況んや昨今の經濟思想から自己の報酬に一部以上を減額して提案すべきが賢明なるべきに會議に於て修正されたるが如きは聊か聰明を欠きし観なくんばあらず左に修正豫算全部を掲載するに先じ三十名の議員中原案支持者は從來よりの深き關係に政民合流組たる荒川淺次郎、吉田五平、萩原義雄、吉村安次郎、井上茂作、佐々木龍若、高橋龜松、千葉彦治諸氏は一面に黨派的に弛張し暗黙移を物語るものであるかも知れないが自治其のものの本體を忘れる議員はなかるべし豫算修正左の如し。

昭和六年度平町歳入出豫算

Table of the 1931 budget for Hirakawa Town. It is divided into '歳入' (Revenue) and '歳出' (Expenditure). The '歳入' section lists various taxes and fees such as '財産所得課税', '土地税', and '課税雑費', with columns for '提出豫算', '修正豫算', and '増減'. The '歳出' section lists administrative costs like '役員費用', '旅費', '印刷費', and '雑費', also with columns for '提出豫算', '修正豫算', and '増減'. The table concludes with '合計' (Total) for both revenue and expenditure, showing a balance of 3,373.75 yen (歳入) and 3,373.75 yen (歳出).

早春雜記

江 尻 生

富士の白雪朝日でこける、
とけて流れて... 春の水
なる小川の水、僅かに温
も吹く風はうすら寒い、丁
度三月は春寒料峭と春風
凛との中間節である。

殺人的不景氣の副産物とし
て露出する失業者の救済策
として各地に部落請負の土
木工事が施行されてあるが
其内容を探究するに百鬼夜
行失業者の救済とて如何か交
付の工事費の大半は運動費
の轉補に充當せられこの日
の永いのに拾紙時間も追
使はれて日給僅かに五六拾
錢救済されたのは有志家や
村當局的の下の献立費、
ダンに使はれた労働者こそ
よい面の皮だ。

勤儉は國家百年の大計で處
世の要諦である勤勉は積極
的の生産手段で儉約は消極的
の貨殖手段である、勤勉には
進取が必要であつて儉約に
は辛抱が大切である勤勉の
勇氣と儉約の根氣を以てし
たならば不景氣の打開はな
んのそのである。

子供等が高柳淳之助の寫眞
を見てこれは偉い人だと云
ふ、予これはベテラン師で大
泥棒だと教へても何んでも
偉い人だと云つて承知しな
い、この種の偉い人が南町
四ッ角(警察署通り)に居る
事を會て磐城之實業紙上に
書いて世人の注意を促した

華があつたこの偉い人今頃
は何處にどうして御座るや
ら案ずるものは預金者や株
主ばかりでもないまい。

日本魂の表情は櫻であつた
が眞の日本魂を表徴するな
らば梅でなければならぬ。
即ち櫻で行き詰つた日本を
梅で救はねばならぬ時代が
到来した、先達石田傳吉先
生より名歌を寄せられた。

新日本魂
日の出つる
大和男子の胸とはば
寒風かほる
白梅の花
盛なる一萬
五千圓の噂

炭礦界の成功者小田吉治氏
が醫術研究洋行費一萬五千
圓無條件提供を本紙上に發
表さるゝや大評判となつて
石城郡内各所で寄るささわ
ると此の時持切り流石は
小田氏は偉いこの意氣で萬
事を進めるから昨今の不況
時に事業は理想通りに儲か
る一方なのだ善果を現賢
に物語つて居る。

高久病院

町田平 電話一五三番

家庭圓滿御健康の秘訣

▲家庭圓滿は御臺所の經濟か
美味で安價で滋養と云へば
何時でも豆で丈夫な

折日の出納豆

東京方面その他の御進物は特に勉強
御電話があれば一個でも配達致します
一個八錢 佐藤善次郎商店
平町右衛門町 電話三七四番

牛豚肉

卸小賣配達迅速
三二二三屋
平町 電話三二三番

内科、小兒科 市原卯太郎
外科、一般、婦人科 市原陸郎
外科、梅毒、淋疾 市原三三男
皮膚科 平町田町本通り

市原醫院

(入院隨時) 電話一四四番

材木商三佐藤三平

福島縣石城郡内郷村大字小島字新町
平 電話 四三三〇番

熱田齒科醫院

平町四丁目(郵便局前通り)
院長 熱田 留

御徳用増設電話(小付)

増設電話ノ取付ケ維持一切ヲ弊店デ御
引受ケ致シマス電話料金ハ年額八圓デ
済ミマス
増設電話ハ御使用ナル電話機ト交換器ト之ヲ取
付クル技術トガ三拍子揃ツテ始メテ良結果ガ得ラ
レマス。此ノ點デ弊店ガ自信ヲ以テ御引受ケシテ
居リマス事ハ最近取付ケマシタ片倉製絲場内ノ甲
種増設電話七十七銀行平支店殿ノ乙種増設電話ヲ
御開キ被下バ御分リニナル事ト存ジマス。

尙弊店ハ電話賣買ノ御取次モ致シ
マスカラ宜敷御利用願上マス。
平町白銀九(電話四二八)
公認 日東商會
長島菊苗

馬島夕ツチベツサリ

理想的の産兒制限器
▲詳細な使用法付
説明書進呈
このベツサリは第五回産
兒制限國際會議に於ける醫
師部會に出席せられた多數
によつて支持せられたもの
で、且つ和蘭政府公認、産
兒制限相續所では、本品を
四十年来推廣使用して好成
績を擧げて居ります。その
他英國でも新マルサス聯盟も本品を推薦して居ります



定 小形(未産婦用)一圓五十錢
大形(經産婦用)一圓五十錢
送料各 十二錢 電話二六八番
平町田町 尙美堂

白馬乃雪 辰ノ口本家

酒銘
石城郡平窪村
電話二八五番

銅鐵和洋金物問屋 久釜屋商店

三井生命保險株式會社平代理店
電話九番 九九番
平五 諸橋久太郎

大勉強

帽子製造販賣
平町二丁目
遠藤帽子店
電話四八八番

營養研究所
標準 胚芽米製造
平稅務署向通り
山野邊米店
電話呼出五一三番

各種印刷

迅速精密 低廉正確

大和田印刷所

平町南町五 電話四六番